

令和 2 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(令和元年度対象)

令和 3 年 3 月

人吉市教育委員会

目 次

< はじめに >	1
人吉市教育委員会の構成（令和3年2月1日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（令和元年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（令和元年度実績）	
② 審議状況	
（ア）付議案件数	
（イ）会議に付された主な案件	
総合教育会議	3
① 会議の開催状況（令和元年度実績）	
② 審議状況	
③ 会議に付された主な案件	
教育委員の活動	3
① 教育委員の所管施設訪問状況	
（ア）学校訪問	
（イ）他の主な会議・行事等	
2 点検評価の目的	12
3 学識経験者の知見の活用	12
学識経験者	
4 点検評価の対象	12
人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	
5 点検評価の結果	13
(1) 総合評価基準	14
(2) 点検評価シート（8事業）	
学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業）	15
放課後・夏休みパワーアップ教室事業	17
学校給食事業	19
地域学校協働活動推進事業	21
スポーツコーディネーター業務委託（人吉市小学校社会体育）	23
人吉球磨総合美展	25
史跡人吉城跡保存整備事業	27
童話発表大会事業	29
< 教育方針 >	31

<はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和元年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会の構成

(令和3年2月1日現在)

教育長	末 次 美 代
委員（教育長職務代理者）	西 口 詳 一 郎
委員	永 田 ミ キ
委員	長 船 法 文
委員	加 賀 邦 保

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

人吉市教育委員会委員（令和元年度の教育委員）

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長 (新制度教育長)	末次 美代	平成27年7月1日 平成30年7月1日再任	令和3年6月30日
委員 (教育長職務代理者)	西口 詳一郎	平成26年4月10日 平成30年4月10日再任	令和4年4月9日
委員	尾方 篤	平成25年7月1日 平成29年7月1日再任	平成31年4月30日 (退任)
委員	永田 ミキ	平成28年10月1日 令和3年1月1日再任	令和6年12月31日
委員	長船 法文	平成28年10月1日 平成29年10月1日再任	令和3年9月30日
委員	加賀 邦保	令和元年10月1日	令和3年6月30日 (尾方委員の残任期間)

(2) 教育委員会の主な活動内容

〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進しています。

教育長、教育委員としての見識を広め今後の本市教育行政の推進に活かすために、令和元年8月に第13回九州地区市町村教育委員会研修大会（大分市）に出席し、学校における計画・実践の在り方や運営方法等について理解を深めました。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年14回開催し、審議事項45件、承認・協議等15件について審議・協議を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指しています。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（令和元年度実績）

会 議	開催数	傍聴者数
定例会	12回	4人
臨時会	2回	0人

② 審議状況

（ア）付議案件数

議 案	45件
承認・協議等	15件

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について

〈総合教育会議〉

① 会議の開催状況（令和元年度実績）

会 議	開催数	開催月
総合教育会議	1回	10月

② 審議状況

協議事項	教育委員出席状況
3 件	4 名

③ 会議に付された主な案件

- ・ 令和元年度 全国学力・学習状況調査結果について
- ・ 英語教育の充実に向けた取組について
- ・ 市内小中学校 I C T整備状況について

〈教育委員の活動〉

① 教育委員の所管施設訪問状況

+

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育委員出席状況
小学校訪問	6校	令和元年 7月～	延べ 24人
中学校訪問	3校	令和元年11月	延べ 12人

(イ) 他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
1	教職員辞令交付式（球磨管内）	平成31年4月1日	1名
2	臨時的任用教職員辞令伝達式	平成31年4月1日	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式及び宣誓式	平成31年4月1日	5名
4	新規採用教職員宣誓式	平成31年4月2日	1名
5	初任者研修連絡協議会	平成31年4月4日	1名
6	学校保健推進合同会議	平成31年4月5日	1名
7	大招魂祭奉納少年剣道大会	平成31年4月5日	1名
8	球磨工業高等学校入学式	平成31年4月8日	1名
9	市内小・中学校入学式	平成31年4月9日	5名
10	人吉球磨学校教育振興協議会	平成31年4月16日	1名
11	教育長・校長合同会議	平成31年4月16日	1名
12	熊本県教育研究所総会	平成31年4月19日	1名
13	市内校長会議、食育推進委員会	平成31年4月24日	1名
14	市内教頭・主幹教諭会議	平成31年4月25日	1名
15	早起きソフトボール開会式	平成31年4月25日	1名
16	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会	平成31年4月25日	1名
17	大畑校区公民館総会	平成31年4月26日	1名
18	第12回「おどんな日本一」全国少年剣道大会	平成31年4月28日	2名
19	第11回「おどんな日本一」高校生弓道大会	平成31年4月28日	1名
20	校長会役員会	令和元年5月9日	1名
21	人吉市PTA連絡協議会総会	令和元年5月9日	1名
22	人吉市スポーツ少年団総会	令和元年5月11日	1名
23	中原校区公民館総会	令和元年5月11日	1名
24	人吉文化協会定例理事会	令和元年5月14日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
25	西校区公民館総会	令和元年5月14日	1名
26	租税教育推進協議会、実践校連絡会議	令和元年5月15日	1名
27	教育長会議、教育推進会議	令和元年5月16日	1名
28	人吉市スポーツ推進委員協議会総会	令和元年5月17日	1名
29	西瀬校区公民館総会	令和元年5月18日	1名
30	市内中学校体育祭	令和元年5月19日	4名
31	第1回校区公民館長会議	令和元年5月20日	1名
32	教科用図書採択協議会打合せ	令和元年5月20日	1名
33	第71回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究 大富山大会	令和元年5月23日～ 5月24日	1名
34	球磨郡町村教育委員会連絡協議会	令和元年5月24日	1名
35	市内小学校運動会	令和元年5月26日	4名
36	人吉市国際交流協会総会	令和元年5月27日	1名
37	市内校長会議	令和元年5月28日	1名
38	教科用図書採択協議会	令和元年5月28日	1名
39	2019年度NPO法人人吉市体育協会通常総会	令和元年5月28日	1名
40	犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第1回）	令和元年5月29日	1名
41	御下の乱追悼式	令和元年5月29日	1名
42	放課後パワーアップ教室サポーター説明会	令和元年5月29日	1名
43	平成31年度熊本県市町村教育委員会連絡協議会定 例会	令和元年5月30日	1名
44	人吉球磨地区租税教育推進協議会	令和元年5月31日	1名
45	市子ども会育成連絡協議会 県子連表彰祝賀会	令和元年5月31日	1名
46	人吉市青少年育成市民会議総会	令和元年6月1日	1名
47	東校区公民館市民体育祭	令和元年6月2日	1名
48	西瀬コミセン成人講座開講式	令和元年6月3日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
49	幼・保等、小、中連携会議	令和元年6月3日	1名
50	第1回社会教育委員会	令和元年6月5日	1名
51	放課後パワーアップ教室開講式	令和元年6月5日	4名
52	人吉球磨地域特別支援連携協議会	令和元年6月6日	1名
53	人吉市立教育研究所総会	令和元年6月6日	1名
54	東西コミセン短期講座「地域の安全を考える会」	令和元年6月7日	1名
55	東西コミセン講座開講式	令和元年6月8日	1名
56	人吉球磨特別支援学級等合同運動会	令和元年6月9日	1名
57	学校運営協議会（人吉東小）	令和元年6月11日	1名
58	中原コミセン開講式	令和元年6月11日	1名
59	中体連夏季陸上競技大会	令和元年6月15日	1名
60	教科用図書採択協議会	令和元年6月18日	1名
61	市内教頭・主幹教諭会議	令和元年6月21日	1名
62	人吉市教育支援委員会・特別支援連携協議会	令和元年6月21日	1名
63	地域学校協働本部会議	令和元年6月24日	1名
64	第1回地域学校協働本部	令和元年6月24日	1名
65	わくわくスタディーミーティング授業者選定委員会	令和元年6月27日	1名
66	学校運営協議会（人吉西小）	令和元年6月28日	1名
67	第17回ひとよし温泉春風マラソン役員会	令和元年6月28日	1名
68	夏季中体連	令和元年6月29日	1名
69	夏季中体連	令和元年6月30日	1名
70	学校給食食物アレルギー対応委員会	令和元年7月1日	1名
71	教育長会議	令和元年7月5日	1名
72	学校運営協議会（第二中）	令和元年7月8日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
73	市内校長会議	令和元年7月9日	1名
74	教科用図書採択協議会	令和元年7月9日	1名
75	学校訪問（第三中）	令和元年7月10日	4名
76	学校訪問（中原小）	令和元年7月11日	4名
77	人吉球磨児童による童話発表大会	令和元年7月14日	3名
78	学校運営協議会（西瀬小）	令和元年7月17日	1名
79	学校運営協議会（第一中）	令和元年7月17日	1名
80	学校給食運営委員会総会	令和元年7月18日	1名
81	夏休みパワーアップ教室開講式	令和元年7月22日	4名
82	人吉市学校安全衛生委員会	令和元年7月23日	1名
83	学校運営協議会（大畑小・第三中）	令和元年7月23日	1名
84	教科用図書採択協議会	令和元年7月23日	1名
85	臨時教育長会議	令和元年7月25日	1名
86	人吉球磨人権教育研究大会分科会	令和元年7月26日	1名
87	人吉市学校安全衛生委員会 対人関係力構築研修会	令和元年7月30日	1名
88	夏休みパワーアップ教室閉講式	令和元年7月30日	4名
89	市子ども会育成連絡協議会 交歓会	令和元年7月30日～ 7月31日	1名
90	犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第2回）	令和元年7月31日	2名
91	第13回九州地区市町村教育委員会研修大会	令和元年8月1日～8 月2日	4名
92	市子ども会育成連絡協議会 ビーチボールバレー 大会	令和元年8月4日	1名
93	第12回ひとよし弓道大会	令和元年8月4日	1名
94	第17回ひとよし温泉春風マラソン第1回実行委員 会	令和元年8月5日	1名
95	球磨郡社会教育委員連絡協議会総会・研修会	令和元年8月5日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
96	いじめ問題対策連絡協議会	令和元年8月6日	1名
97	教科用図書採択協議会	令和元年8月7日	1名
98	人吉市教育委員会が行う初任者研修	令和元年8月21日	1名
99	犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール予選	令和元年8月24日～ 8月25日	1名
100	第74回熊本県民体育祭人吉市選手結団式	令和元年8月30日	1名
101	青雲の志 育成事業派遣者面接	令和元年8月31日	1名
102	第2回社会教育委員会	令和元年9月2日	1名
103	市内校長会議	令和元年9月4日	1名
104	教育長会議	令和元年9月9日	1名
105	いじめ問題対策連絡協議会	令和元年9月13日	1名
106	青雲の志育成事業第一回説明会	令和元年9月19日	1名
107	人吉市教育支援委員会	令和元年9月20日	1名
108	人吉市PTA連絡協議会講演会	令和元年9月21日	1名
109	人吉球磨人権教育研究協議会 第3回代表者会	令和元年9月24日	1名
110	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	令和元年9月24日	1名
111	学校訪問（人吉西小）	令和元年9月27日	4名
112	運動会（人吉東小）	令和元年9月29日	1名
113	学校訪問（西瀬小）	令和元年9月30日	4名
114	就学時健診（大畑小）	令和元年10月1日	1名
115	第33回熊本県市町村教育長研修大会	令和元年10月3日～ 10月4日	1名
116	花まる学園大学開講式	令和元年10月5日	1名
117	令和元年国宝青井阿蘇神社奉納少年剣道大会	令和元年10月6日	1名
118	中学生子ども議会	令和元年10月7日	1名
119	市内教頭・主幹教諭会議	令和元年10月8日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
120	令和元年度九州都市教育長協議会第1回理事会、第33回定期総会並びに研究大会	令和元年10月9日～ 10月11日	1名
121	東間校区公民館市民体育祭	令和元年10月13日	1名
122	学校訪問（第一中）	令和元年10月15日	5名
123	郡市中体連駅伝大会	令和元年10月16日	1名
124	学校訪問（第二中）	令和元年10月18日	5名
125	人吉球磨総合美展テーブルカット	令和元年10月19日	1名
126	大畑校区公民館市民体育祭	令和元年10月20日	1名
127	中原校区公民館市民体育祭	令和元年10月20日	1名
128	第2回校区公民館長会議	令和元年10月23日	1名
129	西校区市民体育祭	令和元年10月27日	2名
130	人吉市小学校社会体育第1回運営委員会	令和元年10月31日	1名
131	犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール本選	令和元年11月2日	1名
132	人吉文化祭テーブルカット	令和元年11月3日	1名
133	犬童球溪顕彰音楽祭碑前祭・学校発表会	令和元年11月7日	5名
134	熊本県子ども・市家庭相談員及び福祉事務所児童担当者研修会	令和元年11月7日	1名
135	学校訪問（人吉東小）	令和元年11月8日	5名
136	就学時健診（東間小）	令和元年11月11日	1名
137	教育長・校長合同会議	令和元年11月12日	1名
138	学校訪問（大畑小）	令和元年11月18日	5名
139	第2回地域学校協働本部	令和元年11月19日	1名
140	ひとよし花まる学園大学実行員会	令和元年11月19日	1名
141	市内校長会	令和元年11月20日	1名
142	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和元年11月22日	1名
143	川上哲治生誕100年記念事業 偉業を伝える企画展オープニングセレモニー	令和元年11月23日	1名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
144	犬童球溪顕彰音楽祭音楽のひろば	令和元年11月23日	1名
145	キューバキャンプ歓迎セレモニー	令和元年11月25日	1名
146	就学時健診（人吉東小）	令和元年11月25日	1名
147	学校訪問（東間小）	令和元年11月27日	5名
148	キューバキャンプ会食会	令和元年11月28日	1名
149	人吉駅伝大会	令和元年12月8日	1名
150	川上哲治生誕100年記念事業（王貞治氏、末次利光氏、小川光明氏による記念トークショー）	令和元年12月8日	1名
151	第67回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結式	令和元年12月10日	1名
152	人吉市学校安全衛生委員会	令和元年12月12日	1名
153	第67回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和元年12月15日	1名
154	市内校長会	令和元年12月16日	1名
155	第3回社会教育委員会 校区公民館長会 合同会議	令和元年12月18日	1名
156	命の授業（第一中・第三中合同）	令和元年12月19日	1名
157	命の授業（第二中）	令和元年12月20日	1名
158	西瀬公民館子ども講座開講式	令和元年12月22日	1名
159	人吉市成人式	令和2年1月3日	1名
160	教育長会議	令和2年1月14日	1名
161	市内校長会	令和2年1月16日	1名
162	図書館まつり	令和2年1月18日	5名
163	家庭教育講演会	令和2年1月18日	1名
164	令和元年度熊本県市町村教育委員大会	令和2年1月20日	4名
165	市内教頭・主幹教諭会議	令和2年1月22日	1名
166	市子ども会育成連絡協議会 九子連表彰祝賀会	令和2年1月25日	2名

	会議・行事名	期日	教育長 教育委員 出席状況
167	第37回熊日郡市対抗女子駅伝大会・第46回郡市対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結式	令和2年1月26日	1名
168	人吉市立教育研究所発表大会	令和2年1月29日	3名
169	令和元年度九州都市教育長協議会第2回理事会	令和2年1月30日～1月31日	1名
170	第3回校区公民館長会議	令和2年2月5日	1名
171	人吉市歯科医師会との連絡協議会	令和2年2月5日	1名
172	いじめ問題対策連絡協議会	令和2年2月7日	1名
173	市内校長会	令和2年2月13日	1名
174	第17回ひとよし温泉春風マラソン開会式	令和2年2月15日	4名
175	第17回ひとよし温泉春風マラソン	令和2年2月16日	1名
176	市内教頭・主幹教諭会議	令和2年2月17日	1名
177	学校給食食物アレルギー対応委員会	令和2年2月17日	1名
178	教育論文表彰式、教育長会議	令和2年2月19日	1名
179	特別支援連携協議会	令和2年2月21日	1名
180	第4回社会教育委員会	令和2年2月27日	1名
181	人吉市学校安全衛生委員会	令和2年3月10日	1名
182	市内校長会	令和2年3月12日	1名
183	給食センター運営委員会総会	令和2年3月12日	1名
184	中学校卒業式	令和2年3月15日	3名
185	小学校卒業式	令和2年3月24日	4名
186	臨時市内校長会	令和2年3月25日	1名
187	人吉市地域学校共同本部会議	令和2年3月27日	1名

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

教育委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら点検評価を行ったところです。

学識経験者

永田 政司（ながた まさし）氏 市PTA連絡協議会会長
荒毛 正浩（あらけ まさひろ）氏 元市役所職員
国武 美幸（くにたけ みゆき）氏 元小中学校教諭

4 点検評価の対象

令和2年度に点検評価を行う事業は、人吉市教育方針に基づき令和元年度に実施した主要な8事業としました。

人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 業
教育総務課	学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業）
学校教育課	放課後・夏休みパワーアップ教室事業
	学校給食事業
社会教育課	地域学校協働活動推進事業
	スポーツコーディネーター業務委託（人吉市小学校社会体育）
歴史文化課	人吉球磨総合美展
	史跡人吉城跡保存整備事業
図 書 館	童話発表大会事業

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価を A～D で表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

なお、今回の点検評価対象は令和元年度となっていますが、評価の時期が令和 2 年 7 月豪雨災害後であり、事業によっては、今後の課題や改善及び今後の事業計画や学識経験者の意見等において、一部被災を踏まえた表現となっています。

(1) 総合評価基準

区 分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理・運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

(2) 点検評価シート (8事業)

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	学校施設整備事業（屋内運動場非構造部材耐震化事業）				
2	担当課名	教育総務課		担当者	赤池健志郎	
3	総合計画における政策体系	政策	コード 2	名称 美しき相良700年の歴史 文化都市ひとよし	施策 10	名称 学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内各小中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する市民				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・屋内運動場の照明設備やバスケットゴール等の非構造部材が落下した場合に甚大な人的被害が及ぶ可能性が高いことから、安心して安全な学習環境の確保と災害時における地域住民の災害時避難所の安全確保を図るため、耐震化工事を行うもの (学校施設及び体育館の構造部材については、平成21年度に行った学校施設耐震化調査により耐震基準クリア済)				
6	事業の概要	・平成26年度に屋内運動場非構造部材耐震化調査を業務委託し、計画的に以下の屋内運動場非構造部材の耐震化工事を行うもの ・照明設備のLED化（軽量化）と落下防止策 ・バスケットゴールの落下防止策				
7	コスト内訳	年度	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（見込）	
		合計	31,234千円	82,353千円	0千円	
		① 国庫補助金	10,515	24,950		
		② 県補助金				
		③ 起債	20,600	57,403		
		④ その他				
		⑤ 一般財源	119	0	0	

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	安心して安全な学習環境の確保と地域住民の災害時避難所の安全確保を目的として、平成28年度から計画的に、全ての小・中学校において屋内運動場非構造部材の耐震化工事を行った。 ・平成28年度実施：人吉東小、人吉西小、第二中 ・平成30年度実施：中原小、東間小、西瀬小、第一中 ・令和元年度実施：大畑小、第三中
9	今後の課題や改善等	屋内運動場非構造部材の耐震化工事完了後、今後は、災害時に使用する多目的トイレの設置、バリアフリー化等を検討する必要があるが、財源的に厳しい状況である。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		A	令和元年度で本事業は完了となるが、概ね計画通りに進捗したことからAを選択した。 現在、本市の学校施設は、その殆どが建築後相当期間を経過し老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから財政への影響が懸念されているところである。 今後は、改築よりも費用面・環境面での影響が少なく、改築と同様の質的向上を図ることができる長寿命化改修に目を向け、個別施設計画に基づく長寿命化計画の策定を急ぐ必要があり、財政負担の平準化やコストの削減を目的とした中長期的な施設整備計画を基に、時代のニーズに適した教育環境整備を進めていく必要がある。
10			

学識経験者の意見

11	○本事業は体育館を使用する本市の児童生徒、教職員の安全確保はもちろん、災害発生時の市民の避難所の安全確保を図るうえでも極めて重要な事業であると考ええる。 ○令和元年度において本事業は終了したということだが、災害での避難所の活用としてその事業効果が大いに発揮されたと思う。 ○財政的に極めて厳しいとは思われるが、今後、市民の利便性向上の観点から多目的トイレやバリアフリー化への検討も今後必要と思う。 ○災害がいつ起きるとも限らない中、安全確保を第一に本事業を今後も実施されたい。 ○体育館が避難所の場合、河川に近い体育館もあり、災害時には他地域の場所の変更も考慮しておく必要がある。	

教育委員会の評価

	総合評価	
	A	本市の学校屋内運動場を使用する児童・生徒、教職員及び災害発生時の避難所として利用される市民の方の安全確保を図るうえで重要な事業である。 万が一を想定した場合の避難所として機能を十分発揮できるよう計画的に事業を進めることが大切であり、今後もバリアフリー化、多目的トイレの設置も含めて継続して事業を進めるよう「A」を選択した。
12		

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	放課後・夏休みパワーアップ教室事業				
2	担当課名	学校教育課			担当者	鶴口光和
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	コード	名称
		2	2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	10	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内小学校の児童				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・経済的理由により通塾等ができない児童の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図るため				
6	事業の概要	【放課後パワーアップ教室】 小学校4・5年生（令和元年度から小学校6年生を除く）を対象として、毎週水曜日の放課後1時間を利用し、国語・算数の前学年で学習した内容を中心に学習支援を行う。 【夏休みパワーアップ教室】 小学校3年生を対象として、夏休みの7日間（土日除く）、午前中の2時間を利用し、国語・算数の前学年で学習した内容を中心に学習支援を行う。				
7	コスト内訳	年度	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（見込）	
		合計	6,686千円	4,796千円	4,517千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他	6,000	4,000	4,000	
		⑤ 一般財源	686	796	517	

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	放課後パワーアップ教室は201人（H30：266人）が受講し、47人の学習サポーターがボランティアで指導した。また、夏休みパワーアップ教室は122人（H30：105人）が受講し、高校生を含む49人の学習サポーターの協力のもと、児童の基礎学力の定着と学習意欲の向上が図られた。
9	今後の課題や改善等	教員OBや地域の方々による学習サポーターの確保対策が必須。広報ひとよし等を活用した募集と社会教育課との連携を図っていく。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	・本市児童の基礎学力の定着と向上を図り、学習意欲を高めるためのこの事業は保護者からの期待も大きいことから、事業継続のために毎年度、学習サポーターの確保対策を講じていく必要がある。 ・小学校での外国語活動・英語教科化の実施に伴い、今後は英語プリント類の追加も検討していく。
10			

学識経験者の意見

11	○児童の学力向上、とりわけ家庭の事情等で学習塾に行くことができない児童にとっては、基礎学力の向上に大きく寄与するものとして評価できることから、今後とも継続してほしい。（2人意見） ○学習サポーターの確保については、今後の課題や改善等で記載のあった通り、広報ひとよしや市のホームページ、報道機関等を活用して本事業の周知及び登録募集の呼びかけを定期的に行うことが必要と思われる。また、社会教育課と連携して学校支援ボランティア登録者に対しても本事業への周知や参加を依頼することにより、新規登録者の拡大を図ることも検討してほしい。 ○新型コロナウイルス感染拡大の状況においての対応は、今後抜本的な見直しが必要と思うが、IT機器を駆使したオンライン授業など検討すべきと考える。 ○参加児童の学習状況や学習サポーターの声さらには児童の担任の声など、どのような点について効果があったのか、課題はどのような点なのかを把握できれば、事業内容について評価しやすいと思う。 ○学習サポーターの確保については、授業参観後に各学級でサポーター体験会を開いたり、地域学校協働本部事業による呼びかけをしてみたりしてはどうだろうか。	

教育委員会の評価

	総合評価	
	B	児童の基礎学力の定着、学習意欲の向上及び経済格差是正等の観点から、事業継続が望ましいと考える。 しかしながら、学習サポーターの確保対策等にも改善の余地があることから「B」を選択した。
12		

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	学校給食事業				
2	担当課名	学校教育課（学校給食センター）			担当者	松下 敏朗
3	総合計画における政策体系	政策	コード 2	名称 美しき相良700年の歴史 文化都市ひとよし	施策	コード 10 学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内小・中学校の児童・生徒及び教職員				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・児童生徒の栄養摂取の充足を図るとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、将来を担う子どもたちの健全な「体」と「心」を育てる上で、重要な役割を果たすため				
6	事業の概要	・安全安心、衛生的でおいしい給食を継続的に供給する。				
7	コスト 財源内訳	年度	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（見込）	
		合 計	188,936千円	170,015千円	163,455千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起 債		2,900	7,500	
		④ その他	17,880	580	601	
		⑤ 一般財源	171,056	166,535	155,354	

事業の成果と課題	
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 ・給食対象者 小学校（1,882名）、中学校（894名）※教職員含む ・給食実施日数 小学校184日、中学校180日 ・職員数 事務員3名 調理員26名（民間委託） 配送員4名（民間委託） 栄養教諭2名（熊本県所属） 非常勤職員1名（アレルギー対応専属） ・給食単価 （小学校）241円/1食 ・（中学校）282円/1食 ・月額（小学校）4,100円 （中学校）4,700円 ・給食費助成金 （小学校）59円/1食 （中学校）61円/1食 ・アレルギー対応（除去食：鶏卵、牛乳、乳製品、エビ、カニ、イカ、タコ）提供対象者数 19名 ■毎日バランスのとれた栄養価の高い給食の提供は勿論のこと、地元食材や季節に応じた新鮮で安全な食材を積極的に取り入れたりなど、安定的・魅力的な学校給食の提供が出来ている。また、アレルギー対応（除去食）を実施することで、対象者に対して安全な給食の提供が出来た。 ■子育て世代の経済的支援として、給食費の一部助成を実施し、一人当たり年間約11,000円が軽減された。
9	今後の課題や改善等 調理場内の調理機器・厨房設備等の経年劣化による不具合が頻発し、毎年多額の修繕費を要している。児童生徒へ安全安心な給食の提供に支障をきたさないためにも、設備の更新年次計画に沿った運営が必要。給食費徴収については、単年度ベースでわずかながら未納が生じている。（R元年度収納率：99.95%）学校との連携・取組強化により完納を目指す。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		A	成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、給食の提供は不可欠である。
10			

学識経験者の意見

11	○食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることなど、学校給食における食育の推進は、極めて重要な事業と位置付け、食育の対象者を子ども達だけでなく、その保護者を含めた取り組みが必要と考える。そのためには、PTAでの活動の中に食育への取り組みを積極的に取り入れてほしい。 ○保健センターが主管する人吉市健康増進・食育推進計画の事業とも連携を密にし、事業のさらなる充実を希望するものである。 ○学校給食を通じて、地域の食や農業への理解を深めていくことも重要であり、経済部など関係部局とも連携した取り組みを継続してほしい。 ○韓国では有機農産物による学校給食がすでに定着しているが、本市の学校給食においても、より安全・安心な地元産の有機農産物の利用を推進してほしい。 ○特に発がん性が指摘されているグリホサートの残留が心配される外国産小麦粉使用のパンを利用している場合は、国産小麦粉パンへの切り替えを検討してほしい。 ○毎日の給食を安全を第一に、さらには食育の場として提供し続けられていることに感謝します。食物アレルギー児童へも除去食として対応されたり、給食費一部助成を実施するなど現代的課題にしっかりと対応されていると思う。 ○限られた予算内で計画的に施設設備の工事を行い、安全安心・衛生面に努力されていることを嬉しく思った。 ○人間は食べることが重要であり、やはり子供達にはしっかりお米を食べてほしい。パンの日を少なく、お米の日を増やすよう希望する。 ○メニューも様々だが、人吉球磨の地元のメニューをもっと取り入れてほしい。	

教育委員会の評価

	総合評価	
	A	食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることなど食育の推進は重要な事業であり、継続した事業が望まれることから「A」を選択した。
12		

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	地域学校協働活動推進事業				
2	担当課名	社会教育課			担当者	上野 政信
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		9
						社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・人吉市内小中学校の児童・生徒				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・これまで各中学校区で取り組んできた独自の地域学校協働活動の成果を基盤とし、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちを育成する学校支援活動の更なる充実・活性化を図るため				
6	事業の概要	【組織構成】 市内全ての小中学校で、地域学校協働活動を推進するために、本市における本部の下に、中学校区毎の支部を設置する構成としている。この各支部に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を1人ずつ配置し、各小中学校のコミュニティスクールにおける学校運営協議会委員とすることで、組織の連携と円滑な運営を図る。 【学校支援活動】 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が、学校と地域の橋渡し役となり、学校のニーズや支援要請に応じ、学校支援ボランティアの募集及び人員確保とボランティア派遣を行う。				
7	コスト内訳	年度	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（見込）	
		合 計	3,157千円	4,389千円	5,504千円	
		財 ① 国庫補助金				
		源 ② 県補助金	436	360	126	
		内 ③ 起 債				
		訳 ④ その他				
		⑤ 一般財源	2,721	4,029	5,378	

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	■学校支援ボランティア登録者数 423人（前年度比：56人増） 学校支援活動実績（合計：支援回数 295回、延べ支援者数 1,579人） 【一中校区】支援回数 96回、延べ支援者数 330人 【二中校区】支援回数 165回、延べ支援者数 1,046人 【三中校区】支援回数 34回、延べ支援者数 203人 ■ボランティアの声・・・市全域に、いろいろな分野に活動が広がり、地域の方のお手伝いも広がっていることを嬉しく思います。子どもにとっても体験・経験が増えて自信や一生の宝物につながるのではと感じます。できることを少しずつ、これからも子どもたちと関わりながら、私自身元気をもらいたいと思っています。
9	今後の課題や改善等	学校支援ボランティアの登録者数は現在423人であるが、二中校区においては活動12年目を迎えており、近年、高齢等により辞退者も出てきていることから、今後登録者数の拡大を図る必要がある。また、支援内容によっては、校区内での支援では対応ができず、他校区からの応援をお願いしている一方で、ボランティア登録している支援内容と学校からの要請が一致せず、支援依頼ができないボランティアの方々もおられる。今後は、地域住民の知識と経験を活かした学校支援の展開ができる仕組みづくりと合わせて、ボランティア支援員の方々の継続意向調査を行う必要がある。

事業の評価と今後の事業計画			
		総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	学校支援活動において、二中校区に比べ、一中校区と三中校区の活動実績に物足りなさを感じる。本事業が一年目ということもあり、新規の支援要請もあったが、今後、学校と地域の双方向での連携・協力を強化し、更なる積極的な活動を推進する必要がある。
10	今後の事業の方向性		
学識経験者の意見			
11			○本事業は、学校の教育環境の向上や子どもたちの人材育成、地域とのつながりを深めていく上で極めて重要な事業と考える。 ○令和元年度から二中校区以外の小中学校において本事業が実施されているが、校区によってばらつきはあるものの関係者の理解と協力により、素晴らしい実績が上がっていると思われる。 ○今後は、豪雨災害の復旧の中、厳しい状況ではあるが、町内会会長への更なる周知や公民館活動との連携をはじめ学校支援ボランティア登録者の拡大に向けた取り組みが必要であると思われる。 ○中学校区3地域にコーディネーターが配置され、事業の広がりや地域への浸透が見られることが大変良かった。今後も期待する。（2人意見）

教育委員会の評価		
		総合評価
		B
12		本事業は、学校の教育環境の向上や子どもたちの人材育成、地域とのつながりを深めていく上で極めて重要な事業である。 学校支援ボランティア登録者の拡大に向けた取り組みや市内全域での活動展開など、地域学校協働本部事業の方向性の検討に改善の余地があることから「B」を選択した。

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	スポーツコーディネーター業務委託（人吉市小学校社会体育）				
2	担当課名	社会教育課		担当者	迫田 洋子	
3	総合計画における政策体系	政策	コード 2	名称 美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	施策	コード 13 スポーツ・レクリエーションの推進

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内小学校に通う令和元年度に4～6年生の児童及びその保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・平成31年4月1日からの小学校運動部活の廃止に伴い、児童の運動機会の二極化の防止及び児童の生涯スポーツの入口として運動機会を創出し、かつ児童の身体機能向上及び健康増進を図るため				
6	事業の概要	・市内小学校6校の体育館及び運動場を使用し、学校単位の社会体育活動を行う。活動の内容は、特定の競技種目によらない、レクリエーションスポーツその他総合的な運動を実施する。児童の運動指導については、スポーツコーディネーター業務をNPO法人人吉市体育協会へ委託し、指導者を派遣する。（あしきた青少年の家の派遣事業も利用し、市体協スタッフの研修も同時実施。） ・事業の運営及び実施については、人吉市小学校社会体育運営委員会（委員17名構成：学校関係者6名、学校PTA関係者6名、校区公民館長連絡協議会1名、スポーツ推進委員競技会1名、教育長1名、教育部長1名、市スポーツコーディネーター1名）において、協議・検討を行う。				
7	コスト 財源 内訳	年度	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（見込）	
		合 計	1,271千円	2,106千円	2,059千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起 債				
		④ その他				
		⑤ 一般財源	1,271	2,106	2,059	

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	市内6小学校それぞれ23～25回実施（計142回実施）し、市内対象児童（4～6年）879名の内、86名（9.78%：目標20%）の児童及びサポーターとして2名の保護者の参加申込があった。全体的に大きな問題もなく実施（移行完了）でき、参加児童及び保護者へのアンケート結果でも、参加児童からも「とても楽しかった・楽しかった」という意見が多く、また、児童・保護者双方から参加の前後での変化に気づきがあり、また、指導者から見ても参加児童の成長を確認できており、目的である「児童の身体能力の向上及び健康増進」に大きく寄与したものと考えている。
9	今後の課題や改善等	事業運営（歳入：会費収入）に直結するもので、持続的な事業の運営・推進のために会員数の確保は大きな課題である。令和元年度から負担金（傷害保険料）や報償費（指導者謝礼）等の必要経費を確保する必要がある、それには加入率20%が必要と試算していたが、結果的に大幅に下回る実績となった。今後の会員確保については、その原因の調査を行った上で、これまでのPR活動に加え、運営委員の協力を得て、体験型のPR活動（各学校PTA学年レクで体験教室を取り組んでもらう）を積極的に行う必要がある。また、指導者確保も同様に欠かせないものであり、受託者において、指導者研修及び確保を鋭意進めておられるが、引き続きの育成・確保が課題である。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	昨年度の試行実績をもとに新年度事業（1年目）を実施したが、加入率が低く運営的には厳しいものとなった。しかし、アンケート結果からみても、充実した活動ができ、その成果も少なからず見えている。その状況を踏まえ、児童の生涯スポーツの入口として、バランスの取れた体づくりや運動の楽しさを味わわせる場、小学校運動部活動に代わる児童の新しい運動機会の場としては有効であると感じている。今後、持続可能な事業とするためには、指導者の育成・確保と併せて、参加児童の確保（運営費確保）が重要であるため、新たなPR活動に取り組みながら事業の啓発を進めていく必要がある。

学識経験者の意見

10	○本事業は小学校の運動部活の廃止に伴う学校単位の社会体育活動への取組であり、本市の子ども達の身体機能向上や健康増進を図るうえで重要な事業と考える。 ○令和元年度からNPO法人吉市体育協会が当業務を委託して実施されたようであるが、参加者が少なかったことは、今後改善の余地があると考え。 ○参加者のアンケートにおける感想では、おおむね良好な意見があり、内容的には評価できるので、今後は参加者を拡大するために保護者への更なる周知が必要と思う。 ○あしきた青少年の家などからの専門スタッフの活用も今後、より一層取り組んでほしいと考える。 ○小学校の部活動の社会体育移行により児童を取り巻くスポーツ環境が大きく変化した。身近にスポーツに親しむ場や体力維持向上の場を確保できることが望ましい。しかし現状では、市内にある総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動では送迎の問題など課題も多い。本事業により各学校単位で運動遊びの場が確保できたことは喜ばしい。運動や体力向上の必要性を市民に啓発し、対象学年のみではなく、スポーツ環境の現状について周知を図り、理解を求めることが重要と考える。	11	○スポーツ活動同様に、社会教育として児童が文化的活動（音楽・美術・文学等）に触れる機会を確保していただきたい。 ○週一回の社会体育移行は定着しつつあり、参加している各小学校の児童からはとても楽しいという声が多い。コロナ禍での事業が中止となっている現状があるが、子供達の体力が大きく下がる可能性があるため、参加率が低いのは金銭的なものなのか、時間帯的なものなのか、なぜ伸び悩んでいるのか再度調査する必要がある。
----	--	----	--

教育委員会の評価

	総合評価	
	B	本市の子どもたちの身体機能向上や健康増進を図るうえで重要な事業である。 身近にスポーツに親しむ場や体力維持向上の場が、少しづつ確保できているものの、多くの子どもたちが参加できるよう様々な面で検討し改善する余地がある。 また、進捗状況は順調であるものの、今後の指標（数値目標）を明確にし、それに向けた取り組みが必要であることから「B」を選択した。

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署									
1	事業名	人吉球磨総合美展							
2	担当課名	歴史文化課				担当者		田中 芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称		
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		11	市民芸術・文化の振興と継承		
事業の内容									
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・人吉球磨はもとより県内外の芸術愛好家							
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・人吉球磨の人々の芸術文化に対する情操を豊かにし、芸術文化の振興・奨励・普及と併せて地域文化の発展を図るため							
6	事業の概要	・令和元年度で66回目を数える歴史ある美術展で、人吉市教育委員会・人吉美術協会・熊本日日新聞社主催で毎年10月中旬に実施している。 ・絵画・デザイン・彫刻・書道・工芸・写真の6部門があり、出品作品は審査後、入賞入選作品を展示する。 ・出品作品以外にも、審査員・招待作家の作品展示や企画展を実施し、人吉球磨の高校生を対象とした生徒作品展も実施している。							
7	コスト内訳	年度		平成30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込）	
		合 計		2,902千円		2,761千円		3,795千円	
		財源①	国庫補助金						
		財源②	県補助金						
		財源③	起 債						
		財源④	その他						
		財源⑤	一般財源	2,902	2,761	3,795			
事業の成果と課題									
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和元年度の出品者数は、6部門合計で189名。出品数は、282点の入賞・入選作品を展示した。（展示期間中（10/19(土)～10/24(木)6日間）の来場者は1,658名） 優れた芸術・文化に触れる機会の創出と発表の場を提供し、高校生を含む若い世代の人材育成や美術愛好家相互の親睦と技術向上が図られた。 出品者数・出品点数・来場者数の全てにおいて減少傾向にあるが、例年多彩な作品展示を行い、来場者からは概ね好評となっている。							
9	今後の課題や改善等	出品者の固定化や高齢化により、年々出品者や出品数が減少している状況であるため、関係団体との連携により、新規出品者の拡大や美術展開催内容の検討を行う必要がある。							

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	芸術文化に触れることは、日々の生活にゆとりや潤い、精神的な安定を与え、それにより情緒豊かな感性が育まれる。 このことから、文化振興事業の意義は大きく、その継続が望ましいと判断されるが、出品者の固定化や高齢化に伴い、出品数や来場者数の減少が課題となっている。 このため、新規出品者の拡大に繋がるよう、若い世代からの参加を促すための高等学校等への働きかけなど、更なる情報発信が必要である。
10			

学識経験者の意見

11	○美術の振興や地域文化の発展の観点から人吉球磨総合美展はこれまで大きく貢献しており、今後とも充実してほしいと希望する。 ○本美展の発展には人吉市の取り組みだけでは厳しいので、球磨郡への自治体とも広く連携した取り組みを検討した方がよいのではないかと思います。 ○課題の出品者や来場者の拡大対策として、市のホームページ・広報ひとよし、報道関係等への掲載による周知徹底や郡市の中学、高校の美術部、写真部、書道部への出展への働きかけをお願いしたい。 ○新型コロナウイルス感染拡大の状況においての対応は、今後抜本的な見直しが必要と思うが、入選作品をインターネット上でいつでも鑑賞できるようにすることなど創意工夫が必要と考える。 ○歴史を重ねてきた人吉球磨総合美展を誇りに思う。美術館の無い本市において、総合美展を1週間だけの美術館にしてはどうだろう。郷土やこの美展から出た美術家についてやその美術家の作品、あるいは有名ではなくとも郷土出身の漫画家作品や建築物など会場内に展示する。高校生においては美術部や美術の授業作品の中で秀作も展示する、さらには運営も担当メンバーとして加わって協力する。そして各学校の児童生徒が見学に行く。芸術の秋を市民が総出で満喫できる人吉になるといいなと思う。 ○各小学校も人吉球磨を問わず様々な美術作品を展示できたら良いと思う。 ○地元芸術家の掘り起こしなども呼びかけると興味がわくかもしれない。	

教育委員会の評価

	総合評価	
	B	地域文化発展の観点から事業の継続は必要であり、さらなる発展が期待される。 出品数や来場者数の拡大対策が必要であり、市民誰もが参加できる取組等を検討する余地があることから「B」を選択した。
12		

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	史跡人吉城跡保存整備事業				
2	担当課名	歴史文化課		担当者	田中 芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード 2	名称 美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	施策	コード 12
						名称 歴史文化遺産の保存と活用
事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・来訪者、地域住民				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・史跡来訪者に史跡としての人吉城跡を体感してもらい、市民にとって心の拠り所となる史跡としての保存整備・活用を図るため				
6	事業の概要	・昭和36年の国史跡指定以降、昭和59年度策定の「保存整備基本計画」、平成22年度策定の「保存管理計画書」に基づき史跡の整備等を行ってきたが、平成28年の熊本地震発災に伴い、史跡を取り巻く環境が大きく変化したことにより、旧市役所本庁舎跡地を含めた近世城郭、中世城郭一帯の保存活用・整備のための「史跡人吉城跡整備基本計画第2版」を令和元年度に策定した。今後は、この整備計画に基づき、史跡の効果的な活用と整備を図っていく。				
7	コスト内訳	年度	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	
		合 計	12,975千円	9,028千円	244,600千円	
	財源	① 国庫補助金	6,460	4,514	171,220	
		② 県補助金			12,230	
		③ 起 債			55,035	
		④ その他				
	内 訳	⑤ 一般財源	6,515	4,514	6,115	
事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	史跡人吉城跡整備基本計画第2版の策定に当たっては、有識者による史跡人吉城跡保存整備専門指導会議を4回開催し、さらに庁内の企画課や都市計画課、観光振興課等の関係課で組織する人吉城跡保存活用協議会を2回開催した。これにより、史跡人吉城跡の整備・活用について審議・検討を重ね、令和2年3月に整備基本計画を策定した。 また、平成31年4月に発生した御館跡北側石垣の一部損壊箇所の応急措置を実施し、周辺住民の安全確保に努めた。				
9	今後の課題や改善等	平成31年4月に発生した御館跡北側石垣の一部損壊箇所が、令和2年7月豪雨によりさらに大きなダメージを受けた。また、三の丸の北側法面も大きく崩落しており、今後、長期間にわたり史跡人吉城跡一帯の復旧・整備が必要である。				

事業の評価と今後の事業計画			
		総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		A	史跡人吉城跡は、その歴史的価値はもとより、市民の心の拠り所としてこれまで生活の中に息づいており、これからも後世に引き継いでゆくべきものである。 7月豪雨による史跡人吉城跡の復旧事業を推進する事が、豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信することにもつながり、今後も継続して迅速な史跡人吉城跡の保存整備事業の推進が重要である。
10	今後の事業の方向性		
学識経験者の意見			
11			○7月豪雨による人吉城跡や歴史資料館の復旧が当面の課題であり、貴重な文化財の復元には相当の時間が必要と思われるが、後世に本市の歴史を伝え活用していくことは相良700年の歴史文化都市ひとよしにとって、極めて重要と考える。 ○個人的な見解であるが、歴史的な文化財の発掘調査後のデータについては、復旧後の資料館にて保存、公開していけば、必ずしも復元まではせず、用地の有効利活用（ふるさと歴史広場でのイベント時の駐車場など）を図ってほしい。 ○国庫補助を活用しながらも、整備の将来像が市民にも見えるようにして事業の継続をしてほしい。

教育委員会の評価		
	総合評価	
	A	人吉城跡の価値を伝えていくために様々なイベントを企画し実施していることから、特に問題もなく進捗状況も順調である。 今後は、市民意識調査を行い、市民向けシンポジウムの開催やパブリックコメント等により、広く整備計画について周知し、麓町本庁舎跡地の利活用を検討されたい。 国史跡指定文化財の保存には、計画的な整備は極めて重要であることから「A」を選択した。
12		

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和元年度事業)

事業名・担当部署						
1	事業名	童話発表大会事業				
2	担当課名	図書館		担当者	池田達城	
3	総合計画における政策体系	政策	コード 2	名称 美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	施策	コード 9 社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・人吉球磨在住の小学生及び保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図るため				
6	事業の概要	・人吉市及び球磨郡内の小学校（分校も1校と見なす）・特別支援学校から推薦された児童による童話発表大会。小学校推薦の28名が参加。 ・童話（日本、外国及び創作もの）、昔話等児童の読みものを、1年生～2年生は5分以内、3年生～6年生は7分以内で発表。 ・人吉球磨小学校長会会長、学校図書館連絡協議会会長等5名が審査。 ・発表者の中から最優秀賞2名、審査員賞6名を表彰した。最優秀賞2名は、熊本県大会へ人吉・球磨の代表として推薦した。				
7	コスト内訳	年度	平成30年度（実績）		令和元年度（実績）	
		合計	199千円		186千円	
		財① 国庫補助金				
		源② 県補助金				
		内③ 起債				
		訳④ その他				
		⑤ 一般財源	199		186	
					224千円	

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	本事業は昭和59年度に人吉球磨広域図書館として開設以来、令和元年度で第35回を迎えた。（それ以前は人吉市の児童により開催。） 図書館では大会通知を各学校宛て5月下旬に行っているが、関心の高い児童や保護者の皆様は5月中旬頃から来館し、発表作品を選書している。選書の一助となるよう館内カウンターでは、過去発表作品の目録と講評集を冊子にして2部提示している。 大会出場児童は各学校代表の1名となるが、ほとんどの学校で、各クラス、学年等それぞれに学校内で予選会を開催しており、結果、多くの児童が一生懸命童話発表に取り組むことで、読書への動機付けや、読書意欲の向上、ひいては心豊かな成長に資することができた。 なお、元年度は熊本県大会において人吉西小の児童が熊本県学校図書館協議会長賞を受賞した。
9	今後の課題や改善等	童話発表大会用の題材を探し求める親子連れに対し、過去の発表作品の目録や講評集を提示している。作品自体を特集展示するコーナーを設けたいが図書館が狭隘なため現在設置できていない。また、当日の会場における聴衆者が、出演者の学校や家族関係者に限られている。 県内他地区では学校単位での童話発表大会（予選会）開催が難しいとして、教育委員会主催で自薦による本大会を開催されたとのことである。発表者の減少が懸念されるとともに、本来の目的が達成できなくなる恐れがある。

事業の評価と今後の事業計画

		総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	今後の事業の方向性	B	本事業は熊本県図書館活動振興協議会球磨支部との共催によりスムーズに運営されている。なお、大会は単に出場する子ども達だけの童話発表の場ではなく、多くの児童が絵本や書籍を手に取り、読書に親しむ機会になっていることから、今後も現状と同様、学校と協力しながら実施することが重要である。 今後さらに聴衆者を増やす取り組みについて、引き続き工夫・強化が必要である。

学識経験者の意見

11	○本事業は、子どもたちの学力向上、とりわけ読書意欲の向上を図るうえでも重要な事業であり、令和元年度は人吉西小学校の児童が学校図書館協議会長賞を受賞したことは素晴らしいことと思う。 ○コロナ禍や豪雨災害により、童話発表大会自体が今年開催できなかったことは残念なことであるが、今後は、インターネットを活用したオンライン形式による童話発表大会ができないか検討すべきと考える。（2人意見） ○より多くの市民の方に聴取してもらう有効な方法として、市のホームページで童話発表大会の動画をアップするなどPRや広報対策を検討してほしい。 ○聴衆者が家族関係者によるものであったとしてもカルチャーパレス小ホールを準備していただけることで、その場を目指して選書し準備練習するという過程が貴重である。今後も継続を期待する。 ○各学校では年間行事計画に校内大会を位置づけ、年度当初から授業や学級経営の中で計画的に取り組んでおられる。各学校の積極的な取り組みにより、非常に高いレベルで発表会が行われていることは喜ばしい限りである。このように、年間計画に位置づけ取り組みが継続されるよう、今後も関係団体と連携を密にして取り組まれることを望む。
----	--

教育委員会の評価

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

< 教育方針 >

《 基 本 理 念 》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



< 教 育 目 標 >

I 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツなどに親しむことを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

III 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。